平成２８年度　北海道岩見沢農業高等学校

スーパーサイエンスハイスクール講演会および

スーパーサイエンスハイスクール成果報告会開催要項

１　目　的

(1) ＳＳＨ講演会：道内外から研究者や技術者を招聘し、科学者を志したきっかけや発見・発明につながった経緯などを含め、最先端の科学技術等に関する講演を行うことにより、生徒の創造性・独創性を高めるとともに、農業科学や科学技術を学ぶモチベーションを高める。

(2) ＳＳＨ成果報告会：ＳＳＨ事業で実施した研修および研究の成果をまとめて報告することにより、評価反省を行いＳＳＨ学習に活かす。

２ 開催期日　１１月１４日（月）　９：１０～１２：２０

３　場　　所　北海道岩見沢農業高等学校　体育館

４　参加生徒　本校第1学年(280名)　第2学年(252名)　第3学年(276名)

５　成果報告者　ＳＳＨ１年40名　ＳＳＨ３年11名

６　講演会演題　『気象データの農業利活用』

７　講　　師　農研機構　北海道農業研究センター　上級研究員　井上　聡　氏

８　対　　象　全校生徒、教職員、市内中学高校教員、道内ＳＳＨ高校、保護者

９　時　　程

|  |  |
| --- | --- |
| ＳＳＨ成果報告会 | 受付　　　　　　　　　　８：４０～１０：３０開会　　　　　　　　　　９：１０道内研修報告（１年）　　９：２０～海外研修報告（３年）　　９：３５～ＳＳ理科研究成果（３年）９：５０～ |
| ＳＳＨ講演会 | 校長挨拶・講師紹介　　１０：２０　講演　　　　　　　　　１０：３０～１２：００質疑応答　　　　　　　１２：１０～１２：１０生徒謝辞・校長挨拶　　１２：１０～１２：２０ |

10　今年度のＳＳＨ講演テーマのねらい

(1) ＩＣＴによる農業や環境に関する活用について、現在の技術とその活用について理解する。

(2) ＩＣＴをＳＳ課題研究やＳＳ理科で活用する。

※「課題研究」の研究や理科実験等において、さらに科学的で充実した研究を行えるようにしたい。また、生徒向けの話しだけでなく、教員における授業の工夫等についての参考にしたい。

(3) 農業技術や農業経営、農業環境に関するＩＣＴ利用の将来展望について。

11　対　　象

　　・市内高等学校　・市内中学校　・岩見沢教育委員会　・北海道内ＳＳＨ高等学校

　　・本校学校評議員　・本校ＰＴＡ役員　・本校同窓会役員　・本校農業クラブＯＢ会

　　・本校ＳＳＨ連携大学　本校ＳＳＨ関係機関